

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 1 日 (2007.11.1)

【公開番号】特開 2006-106887(P2006-106887A)
 【公開日】平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-016
 【出願番号】特願 2004-289206(P2004-289206)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 1/26 (2006.01)
H 0 1 M 8/00 (2006.01)
H 0 1 M 8/04 (2006.01)
G 0 6 F 1/28 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 1/00 3 3 0 A
 H 0 1 M 8/00 A
 H 0 1 M 8/04 Y
 H 0 1 M 8/04 Z
 G 0 6 F 1/00 3 3 3 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 9 月 12 日 (2007.9.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

充放電可能な二次電池を有する情報処理装置と、

前記情報処理装置に接続され、化学反応により発電可能な燃料電池を有する燃料電池ユニットとを具備する情報処理装置システムにおいて、

前記燃料電池ユニットは、

前記情報処理装置が電源オフ状態か否かを判別する電源状態判別部と、

前記二次電池が満充電状態か否かを判別する充電状態判別部と、

前記燃料電池の発電の開始および停止を制御する制御部と、

を備え、

前記制御部は、前記電源状態判別部で前記情報処理装置が電源オフ状態であると判別された場合において、前記充電状態判別部で前記二次電池が満充電状態であると判別されたときは、前記燃料電池の発電を停止することを特徴とする情報処理装置システム。

【請求項 2】

前記充電状態判別部は、前記情報処理装置に電力を供給する前記燃料電池の電圧値および電流値の少なくとも一方の値に基づいて前記二次電池が満充電状態か否かを判別することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置システム。

【請求項 3】

前記充電状態判別部は、前記情報処理装置に電力を供給する前記燃料電池の電圧値が所定の値以上の場合は前記二次電池が満充電状態であると判別することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置システム。

【請求項 4】

前記充電状態判別部は、前記情報処理装置に電力を供給する前記燃料電池の電流値が所定

の値以下の場合には前記二次電池が満充電状態であると判別することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置システム。

【請求項 5】

前記充電状態判別部は、前記情報処理装置から送信される前記二次電池の充電状態を示す情報に基づいて前記二次電池が満充電状態か否かを判別することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置システム。

【請求項 6】

前記燃料電池ユニットは表示部を備え、

前記表示部は、前記燃料電池から前記二次電池に充電中の期間は充電中である旨を表示し、前記燃料電池から前記二次電池に対する充電が満充電したときは満充電した旨を表示することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置システム。

【請求項 7】

前記情報処理装置は表示器を備え、

前記表示器は、前記燃料電池から前記二次電池に充電中の期間は充電中である旨を表示し、前記燃料電池から前記二次電池に対する充電が満充電したときは満充電した旨を表示することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置システム。

【請求項 8】

充放電可能な二次電池を有する情報処理装置に接続され、化学反応により発電可能な燃料電池を有する燃料電池ユニットにおいて、

前記情報処理装置が電源オフ状態か否かを判別する電源状態判別部と、

前記二次電池が満充電状態か否かを判別する充電状態判別部と、

前記燃料電池の発電の開始および停止を制御する制御部と、

を備え、

前記制御部は、前記電源状態判別部で前記情報処理装置が電源オフ状態であると判別された場合において、前記充電状態判別部で前記二次電池が満充電状態であると判別されたときは、前記燃料電池の発電を停止することを特徴とする燃料電池ユニット。

【請求項 9】

充放電可能な二次電池を有する情報処理装置と、

前記情報処理装置に接続され、化学反応により発電可能な燃料電池を有する燃料電池ユニットとを具備する情報処理装置システムの充電制御方法において、

前記情報処理装置が電源オフ状態か否かを判別し、

前記二次電池が満充電状態か否かを判別し、

前記情報処理装置が電源オフ状態であると判別した場合において、前記二次電池が満充電状態であると判別したときは、前記燃料電池の発電を停止することを特徴とする充電制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

また、本発明に係る情報処理装置システムの充電制御方法は、上記課題を解決するため、請求項 9 に記載したように、充放電可能な二次電池を有する情報処理装置と、情報処理装置に接続され、化学反応により発電可能な燃料電池を有する燃料電池ユニットとを具備する情報処理装置システムの充電制御方法において、情報処理装置が電源オフ状態か否かを判別し、二次電池が満充電状態か否かを判別し、情報処理装置が電源オフ状態であると判別した場合において、二次電池が満充電状態であると判別したときは、燃料電池の発電を停止することを特徴とする。